



JA 南さつま 平川市へ知覧茶を贈呈

平川市と友好親善交流盟約を結ぶ鹿児島県南九州市のJA南さつまが6月18日、平川市内の小中学校に特産物「知覧茶」を贈呈しました。

平川市役所で行われた贈呈式では、JA南さつまの山下良行代表理事組合長が、お茶が生活習慣病の改善や健康維持に役立つことを紹介し、贈呈を受けた小学生へ知覧茶の魅力を広く発信して欲しいと期待を寄せました。



お茶贈呈式で知覧茶を受け取った児童（中央）

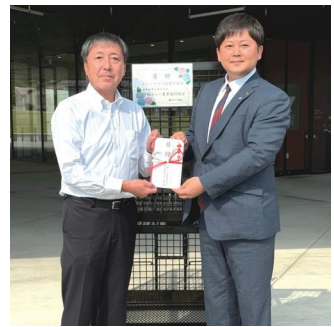


平川市へ 熊捕獲用の箱罠を寄贈

6月18日、平川市に熊捕獲用の箱罠を寄贈しました。

昨今、熊出没による農作物の被害や生活圏への出没が懸念される中、JA共済地域貢献活動の一環として実施しました。

寄贈式では、目録・箱罠の贈呈と、箱罠が正常に作動するか確認が行われました。目録を寄贈した津川博征信用担当常務は「これからも地域に寄り添い、生産者が安心して農作物を育てられるよう貢献してまいります」と述べました。



工藤平川市長(右)へ目録を贈呈する津川常務



農産物検査員鑑定研修会

6月3日、米穀部は黒石支店で粳・玄米・小麦・大豆の鑑定研修を行いました。参加したJA職員は粳・玄米・小麦・大豆の品位鑑定と、玄米・小麦の銘柄鑑定に取り組みました。7月に行われる青森県JA農産物検査員鑑定競技大会（団体の部）に向けて検査精度技術の向上を図りました。



目視で品位鑑定と銘柄鑑定を行うJA職員



役職員が園地巡回 りんごの生育状況を確認

7月3日、当JAの役職員が管内全地区を対象にりんごの園地巡回を行い、生育状況を確認しました。

巡回では、生育状況や病虫害発生状況を確認し、今年の生育は適度な降雨もあり順調であることが確認できました。

奈良寧代表理事組合長は「雪害等の影響で大変な思いをされていると思うが、適切な栽培管理を徹底し、高品質なりんごの生産につなげていただきたい。昨年の県内りんご出荷数量は40万トンに届かなかったため、今年は目指していきたい。そのためには高密度植栽培の導入も積極的に検討していただきたい」と呼びかけました。



りんご高密度植栽培地で生育状況を確認する奈良組合長(左)

